

## ■地方創生に向けた地域の活性化に向けて

### 1. 中心市街地の活性化に必要な2本の南北道路の早期都市計画決定（新規）

八王子エリア（中国労働金庫防府支店から旧国道2号線までの路線）、栄町エリア（ルルサス防府から旧国道2号線までの路線）の2本の道路を拡幅することによって、空洞化が進む中心市街地における開発並びに土地の高度利用を促進し、これから迎える少子高齢化社会において快適で利便性の高い、魅力あるコンパクトシティと安定した都市経営が実現しますので、当該路線の早期都市計画決定を要望致します。

＜要望先：防府市＞

### 2. 中心市街地活性化に向けた支援体制の強化（新規）

防府市中心市街地活性化協議会において協議した内容を活性化基本計画に反映して頂くため、行政内部への支援体制づくりを要望致します。

基本計画づくりとそれに基づいた事業実施にあたっては、専門知識はもちろんのこと、経験がとても重要になることから、まちづくりを担当された方の派遣と、同協議会が実施する調査事業や報告事業などの費用につきましても財政支援をお願い致します。

＜要望先：防府市＞

### 3. 中心市街地活性化基本計画の早期策定・提出と官民連携によるまちづくりの実現（新規）

本格的な人口減少、超高齢化社会の到来を迎え、より一層深刻化する中心部エリアの商業機能の空洞化や未利用地の増加によるまち全体の魅力・活力低下を食い止めるためには、防府市中心市街地活性化基本計画を早期に策定し、基本計画に基づき官民連携による総合的なまちづくりが必要であると考えます。

つきましては、これからの防府の顔となる中心市街地の活性化を早期実現していくために、基本計画の早期策定・提出を要望致します。

＜要望先：防府市＞

### 4. 地域間競争に勝ち残るための統一感あるまちづくりの推進（新規）

全国各地において地域の特性を活かした魅力あるまちづくりが進められ、地域間競争は益々激しさを増しております。今後、本市が勝ち残るには、地域全体をブランド化させ発信力を高め、地域外からヒト・モノ・カネを呼び込み、好循環を生み出す必要があります。そのためには、まちなかの景観整備から地域発の商品開発・サービスの提供に至るまでデザインの戦略を図ることが重要であると考えます。

事業者にとっても、地域独自のデザインを活用した商品開発、販路開拓による経営基盤の強化が期待できますので、統一感あるまちづくりを推進する「防府デザイン戦略委員会（仮称）」の発足を要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 5. 少子高齢化社会に対応するまちづくりと一体となった地域公共交通体系の整備(新規)

少子高齢化等の社会経済情勢、都市機能の拡散等の課題に対応し、持続可能な都市を実現するには集約型のまちづくりが求められています。

特に超高齢化社会を迎えるにあたっては、駅を中心とした都市機能の集まるまちなかと周辺地域を安心安全、そして環境にも優しい公共交通システム L R T (ライトレール) で繋ぐことが有効であると考えます。

また、郊外に立地する総合医療センターへの交通整備も魅力ある都市再生の一助となることから、まちづくりと一体となった交通体系整備の検討を要望致します。

<要望先：防府市・山口県>

## 6. 地域活性化を支える企業成長を阻害している規制等の解決に向けた検討会議の開催(新規)

当所が平成 28 年 7 月に中小企業・小規模事業者を対象に企業成長を阻害する規制についてアンケートを実施したところ、13%の企業において「制約を受けた」との回答があり、中でも、企業が創業や経営革新等を行う際に、市街化区域・市街化調整区域での用途制限が影響するとの意見が多くありました。

これからの「まち・ひと・しごと」の創生には先ず中小企業・小規模事業者の活性化が必要であり、まちづくり・高齢化等の諸課題も睨みながら、中小企業・小規模事業者が自由な発想と創造力で経営活動が行えるよう、時代に即した経営環境を整備することが重要と考えます。

つきましては、行政・民間事業者・外部有識者による規制改革について、意見交換や対策を講ずる「防府市規制改革検討会議(仮称)」の設置について要望致します。

<要望先：防府市>

## 7. 域内経済の活性化と産業交流を図るためのインフラの整備

### 1) 防府市都市計画道路の見直し

防府市では、計画延長約 126km に及ぶ都市計画道路の約半数が未整備・未着手であり、その殆どは計画決定から 30 年以上経過しております。

今後のまちづくりを進めていく上で、未整備・未着手路線を見直し、現在の状況を鑑みながら外部の有識者・事業者の声を集約し、新たな都市計画に基づく都市計画道路の決定を進められますよう要望致します。

<要望先：防府市>

### 2) 都市計画道路環状 1 号線の防府バイパスへの早期完工

都市計画道路環状 1 号線は山口県道 58 号防府環状線として、西浦・中関・浜方など防府の工業地帯と国道 2 号線を結ぶ主要地方道として整備が進められており、現在沖今宿二丁目交差点付近まで利用可能となり、その北部 930m 区間についても平成 28 年度までの事業認可期間として整備が進められています。

しかしながら、そこから防府バイパス接続部分までの区間については未だ事業化が進んでおらず、早期の供用開始ができるよう残区間の事業化及び早期完工・供用開始を要望致します。



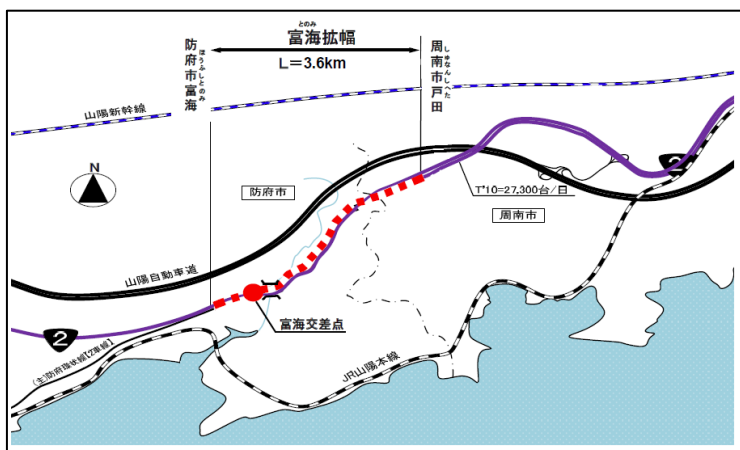
太線の区間が未供用・未整備となっている都市計画道路環状1号線区間

<要望先：防府市・山口県>

### 3) 国道2号線 富海拡幅事業の早期完工

防府市の主要道路である国道2号線の富海地区2車線区間について、平成23年度に連続4車線化の事業決定がなされ、平成26年度より本体工事が着手されております。

当該路線は周南・広島方面を結ぶ重要な物流路線であるだけでなく、連続4車線化により道路渋滞・事故発生などのリスク軽減も期待できることから、本事業の早期完工を要望致します。



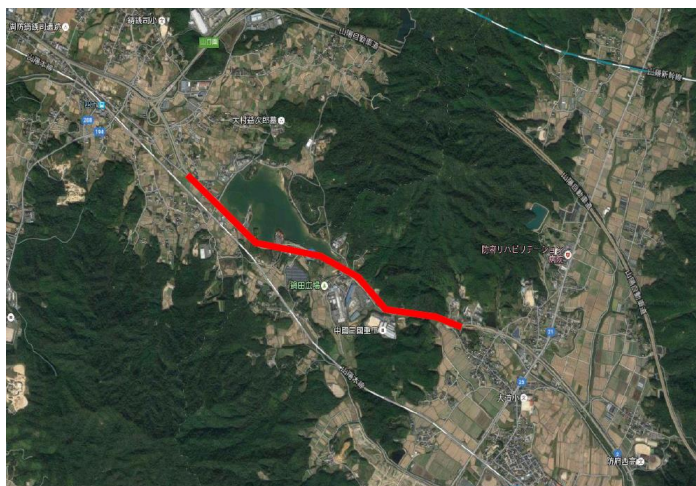
<要望先：防府市・山口県・国>

### 4) 国道2号線 台道交差点から今宿東交差点間の4車線化について

台道地区では、平成28年3月に台道交差点改良事業が終了し4車線区間が延長したものの、未だ台道交差点から今宿東交差点（山口市鑄銭司）において2車線区間が長く、時間帯によっては重度の渋滞が発生して物流に影響を及ぼしております。

同区間の4車線化は、防府市と他市を結ぶ重要な物流路線を確保するだけでなく、災

害時には救助・復興の路線としても重要な役割を担うことから、本事業の早期完工を要望致します。



太線の区間が未整備となっている  
国道2号線 2車線区間

<要望先：防府市・山口県・国>

## 8. 山口県立大学・大学院（工学部、薬学部、農学部）の新設、並びに招致による地元技術者の育成

本市は県内有数の工業都市であるとともに、県立総合医療センター、県立農業大学校といった県内唯一の施設を有する恵まれた環境があり、他市にない産学官連携による産業のさらなる振興が図れ、若者の定着も期待できることから、予てより、県立大学への工学部・薬学部・農学部の新設、並びに本市への招致を要望しております。

少子高齢化が加速する中で地元企業が活力を維持していくためには、地域内で、高い技術と知識を保有する人材育成が行える体制づくりが急務と考えますので、引き続き関係機関に働きかけをされますよう要望致します。

<要望先：防府市>

## 9. 明治維新 150 年に向けた官民参加での協議会の開催

平成 30 年の「明治維新 150 年」に向けて、行政をはじめ関係機関との協議は進められておりますが、観光客の受け皿となる民間事業者（飲食店、土産品小売店等）との協議、調整は進んでいないとお聞きしております。

この明治維新 150 年を契機に、本市が魅力ある観光地であると来訪者に認知され、リピートに繋げていくには、本市の特性を活かした商品開発と「幸せますなまち防府」を実現するサービスの提供等に取り組む必要があると考えことから、官民参加の協議会の開催を要望致します。

<要望先：防府市>

## 10. クルーズ等海洋観光の振興を図るための拠点整備と積極的な誘致活動の取り組み

各地で、東京五輪を契機と捉えたインバウンドを始めとする観光振興事業に取り組まれております。本市は、県央に位置しアジア圏からも近く地理的条件に恵まれており、大型

のクルーズ船舶が着岸可能な港湾を保有していることから、これらの強みを活かすことで、クルーズ客船の活性化による新たな観光振興を目指すことが可能であります。

つきましては、防府市におかれましても積極的なトップセールスなどの誘致活動、及び、クルーズ誘致を後押しする拠点整備に取り組まれますよう要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 11. 「みなとオアシス三田尻」を中心とした交流拠点づくりによる地域活性化

潮彩市場防府を中核施設とする新築地地区では、「みなとオアシス三田尻」の認証、「道の駅」の登録を受け、「防府港まつり」「ふるさと思い出花火」などのイベントを始め地域の交流拠点としての役割を果たしております。

県央部の交流拠点として更なる機能強化を図るために、緑地・運動公園などの整備や野島航路の発着場を潮彩市場防府付近へ移設するなど、海・港について親しみを持ってもらえる「にぎわい空間作り」が必要と考えます。

つきましては、みなと周辺のランドデザインに基づいたまちづくりを推進するために、関係機関と連携を図られながら早期実現に向けて取り組まれますよう要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 12. 防府市の優位性を活かした企業誘致活動の推進

防府市は、高い技術を有する中小企業・小規模事業者が多数立地していることで、地域産業とのビジネス連携の可能性や新たなビジネスチャンスの創出機会が有り、また、大規模災害・被災可能性が低いなど、企業が立地する上で高いポテンシャルを持っております。

今年度は誘致目標を掲げ、インセンティブを準備して着実な成果をあげられますよう要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 13. 医療関係産業クラスターの実現

本市には、高度なものづくり技術を持つ中小企業が多数存在し、また、先進医療を牽引する県立総合医療センターがあるという強みを生かして、将来の更なる成長が見込めることから、産業の活力増進に繋がる医療関係産業クラスターの早期実現に向けた関連産業の育成や産学公連携の推進、そして医療現場の開発・改良ニーズを的確に把握するための医工連携の推進に、引き続き取り組まれますよう要望致します。

＜要望先：防府市・山口県＞

## 14. 防府市観光振興基本計画(2016～2020年)の早期実現に向けたアクションプラン化と、国内外に向けた防府市の魅力の発信(新規)

防府市では、昨年度「第二次防府市観光振興基本計画」を策定され、現在この基本計画に基づいた事業を推進されていますが、この計画をより実効性のあるものとし、スピード

感を持って早期実現させていくには、アクションプラン化して戦略・目標を明確にすることが必要であると考えます。

また、本計画には「インバウンド観光の推進」が掲げられ、外国人観光客も視野に入れた観光客誘致を促進するとありますが、目標達成には最適な実施時期、効果的なツールの活用といった政策的イニシアティブによる強力なプロモーション活動の必要がありますので、これらの早急な取り組みを要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 15. 着地型ツアーメニューのモデル事業化に向けた山口県との連携（新規）

消費者の観光ニーズの成熟化により、これからの観光を通じた地域振興には、行政区域にとらわれないエリアで様々な関係者が協働し、当該地域の資源を活用したツアーメニューを企画・販売するなどの着地型観光に繋がる持続的な取り組みを活性化させていくことが重要と考えます。

つきましては、県と連携した着地型ツアーメニューのモデル事業化を要望致します。

＜要望先：防府市・山口県＞

## 16. 観光産業の育成・強化に向けた規制の緩和（新規）

防府市の年間を通じたイベント「幸せますフェスタ」には、企業との連携による「愛情防府フリーマーケット」、地元高校と連携した「天神まちかどフェスタ」、地域資源である「防府天満宮」を活用した祭り等、産学との連携や地域の特性を活かした特色あるイベントが多数あり、地域活性化に繋がる賑わいを創出しています。

しかしながら、新たなイベント実施に伴う道路占有許可や飲食出店の臨時食品営業届出について、要件の厳格化や制約による認可手続きの長期化がみられ、新たなイベントはもちろんのこと、従来イベントの継続自体も難しい状況が生じております。

これからの賑わい創出や活力ある地域社会の実現に向けては、規制の緩和による民間活力を引き出し、自由な発想に基づく魅力的な企画立案を促進していくことが重要と考えますので、関係各所への働きかけを要望致します。

＜要望先：防府市・山口県・国＞

## 17. 地域の価値を高めるための空き家、空き地対策の推進（新規）

- 1) 空店舗の解体費用に対する支援の創設と改修費用に対する支援の拡充と中心市街地における不動産の相続登記や権利登記の促進に向けた一定期間内における手続き費用の無料化などインセンティブ措置の創設

各地で中心商店街の空店舗・空き地の利活用が進まず、中心市街地活性化やコンパクトシティ実現に向けた取り組みが停滞するという課題を抱えております。特に、中心市街地の空店舗・空き地は不動産の権利関係が錯綜しているケースが多く、これに不動産所有者個人の資産保有状況や相続等の状況が絡み、不動産の流動化を一層困難にさせている現状であります。

これら諸課題の解決には、土地建物の解体・改修費用に対する支援の拡充や、手続き費用の無料化など、不動産所有者に対して利活用を促し、法制面から継続的に空店舗・空き地が利活用される仕組みを構築する必要があると考えますのでインセンティブ措置を創設されるよう要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 2) 空き家、古民家、歴史建造物の宿泊施設、レストラン、事務所等として活用促進を図るための許可手続きの簡素化や施設基準の緩和

最近の創業・第二創業では、古民家や歴史建造物が再生され、建築物の個性を活かした宿泊施設やレストラン、事務所等として活用されています。本市には、歴史的・文化的な価値を有する古民家や歴史建造物が多数有るものの、許可手続きの煩雑さと、施設基準が厳しいことが阻害となり進まない状況があります。

独創性のある創業者の育成や、整備地域の景観保全への貢献を促進するため、許可手続きの簡素化や施設基準の緩和を要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 18. 住宅リフォーム助成事業の継続実施と助成金額を1億円に増額

住宅リフォーム助成事業の今年度の申込件数は749件、工事総額は6億9千万円と経済波及効果が高い事業であります。6年目を迎えて周知が進み今年は僅か1ヶ月で助成額に到達したため、市民、施工業者、商品券の取扱店から事業の長期間実施への要望が出ております。

つきましては、さらなる経済波及効果と長期間実施するために、助成金額を5千万円から1億円に増額して頂きますよう要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 19. 店舗リフォーム助成事業の継続実施と助成金額を3千万円に増額

店舗リフォーム助成事業は、本年から市内全域が対象エリアとなったことで利用されやすくなり、募集開始日に助成額に到達するなど大変反響も大きく、開業資金の限られている創業者への支援、また、所有者にとっても改装により資産価値を高めることができ、積極的な民間投資を促す効果の大きい事業であります。

つきましては、上記の事業効果をさらに高めるために本制度の継続実施、並びに助成金額を1千万円から3千万円に増額して頂きますよう要望致します。

＜要望先：防府市＞

## 20. 商店街空店舗対策（家賃・設備補助）の継続実施

本市中心市街地では、郊外型店舗の立地、あるいは高齢化・後継者難からの既存店舗の廃業が進んだことを背景に多くの空店舗が発生しています。空店舗の発生は街の賑わいを失わせる大きな引き金となるため、引き続き、空き店舗の活用促進と創業者の支援を通し

て商店街活性化を図るため、空店舗対策のための補助金の継続を要望致します。

<要望先：防府市>

## 21. 「幸せますフェスタ」への支援

平成 26 年度より、市内各種イベントを「幸せます」という統一コンセプトのもと運営していることは、地域の特性をより明確に打ち出すことに繋がり、全国的に防府を発信する魅力あるイベントとして定着しております。

つきましては、更なる魅力ある地域づくりと賑わいの創出を目指して「幸せますフェスタ」を継続、発展させて参りますので、引き続きの助成を要望致します。

<要望先：防府市>

## 22. 「まちづくり防府」への支援

まちづくり防府では、歴史と文化、伝統を活かした賑わい溢れる防府らしいまちづくりの推進に向けて、商業者、学校、企業、市民等と連携した取り組みを展開しておりますので、引き続き、運営及び事業へのご支援を要望致します。

<要望先：防府市>

## 23. 「ほうふ昭和館」運営の継続支援

「昭和館」は、当時を懐かしむ世代から子供まで年間 6,000 人が入館し、地域コミュニティ創生の場として、商店街の中で重要な役割を担っております。

また、これから明治維新 150 年に向けて観光振興を図る上でも、市内主要観光エリアと商店街を結ぶ、観光回遊施設として重要な役割を担う施設でありますので、引き続きのご支援を要望致します。

<要望先：防府市>



## ■地方創生の中核を担う中小企業・小規模事業者の活性化

### 24. 中小企業の人材確保と労働者不足に対応する事業の支援（新規）

#### 1) 中小企業におけるインターンシップの受け入れ促進に向けた支援

インターンシップは、実社会への適応能力のより高い実践的な人材の育成に繋がり、受入企業にとっても、企業の実態について学生の理解が深まることで、魅力の発信と就業希望の促進が期待できます。

しかしながら、企業の中には、事業の意義は理解しつつも稼働状況や人出不足により受入に難色を示すケースも見られることから、相談体制の整備や助成制度を創設することで企業負担を軽減し円滑な受入を図っていくことが必要と考えます。

中小企業の有能な人材確保に資するインターンシップの推進に向けた支援策を要望致します。

＜要望先：防府市・山口県・国＞

#### 2) 産業界が求める人材の育成に向けたキャリア教育・産業教育事業の実施

企業の求める人材需要は、多様化・複雑化・高度化、グローバル化、情報化する産業構造の中で高度化してきており、学校教育の早い段階から、専門的な知識・技能の修得、並びに、社会的・職業的自立に向けた職業観の育成を行っていく必要があります。

そのため、企業側の要望を適確に教育プログラムに反映させていくことが望ましく、教育機関と産業界が連携したキャリア教育・産業教育事業の実施を要望致します。

＜要望先：防府市・山口県・国＞

#### 3) 従業員の教育訓練を行う事業者に対する「キャリア形成促進助成金」等の申請手続きの簡素化（小規模事業者対応）

労働者のキャリア形成を効果的に促進するための本助成金は、限られた経営資源の中で社員教育を行わなければならない中小企業にとっては重要な役割を果たしております。

しかしながら、助成金の活用には開発計画の策定や煩雑な申請手続きを取らなければならない、事務機能が整っていない小規模事業者にとっては活用しづらい制度ともいえることから、小規模事業者において効果的に活用されるため申請手続きの簡素化を要望致します。

＜要望先：防府市・山口県・国＞

#### 4) 若者の職業訓練と正規雇用化に資する「ジョブ・カード制度」の一層の推進

本制度は、自分の能力や適性を客観的に把握したうえで、必要な職業訓練を組み合わせることから、雇用意欲の高い中小企業と求職者のミスマッチ解消に向けて有効な制度であります。現在の増加する非正規労働者、及び、高い離職率の改善には、本制度の一層の推進が必要と考えますので、引き続きのご支援を要望致します。

＜要望先：防府市・山口県・国＞

#### 5) 雇用促進税制における採用活動に対する費用の上乗せや税額控除額の増加

雇用促進税制について適用期限が平成 30 年 3 月 31 日までに開始する各事業年度まで延長され、所得拡大促進税制との併用も可能となったことで雇用拡大に繋がることが期待されています。従業員を増やして事業を拡大したいと考える企業の支援と、地域における雇用拡大の実現には、採用活動に係わる費用の上乗せや税額控除額が増加されるなど、画期的でインセンティブな税制優遇策が必要であると考えますので、関係機関への働きかけを要望致します。

<要望先：防府市・山口県・国>

#### 6) 中小企業・小規模事業者の技術講習会参加に対する支援

中小企業・小規模事業者における技術開発力の向上と、企業の発展に資する優秀な技術者の育成を促進するため、代表者又はその従業員が専門的な知識・技術に関する研修を履修する際に、研修費用の一部を助成される制度の創設を要望致します。

<要望先：防府市・山口県・国>

#### 7) 高校教育における建築、土木科目の履修による雇用窓口の拡大

若者の確保・育成は建設業界において喫緊の最重要課題となっており、このままいくと、ものづくり産業として不可欠な技能・技術の承継が困難となること、地域の雇用の重要な支え手である建設産業全体の衰退が懸念されます。

この状況の改善には、高校教育の中に建築、土木科目の履修機会を設けて建設業への就業意欲を掻き立てること、また、インターンシップを通じた地元建設業を認識する機会を増やすことが、若年者の地元建設業への就職増加に繋がると考えますので、関係機関への働きかけを要望致します。

<要望先：防府市・山口県・国>

### 25. 創業支援策の安定的、継続的な実施（新規）

#### 1) 創業を強力に後押しする創業支援策の安定的、継続的な実施

企業数の 99.9%を占める中小企業は、開業・創業が伸び悩み、開業率が廃業率を大幅に下回る状況となっています。地域経済の活性化や地域雇用の確保を支えているのが中小企業という観点からも一層の創業の促進を行い、雇用を生み出し、産業の新陳代謝を進めていくことが重要と考えます。

当所も認定支援機関として、日々、創業相談・事後指導を行っておりますが、地域経済の活性化に資する中小企業・小規模事業者の創業を更に強力に後押しするために下記の創業支援策の安定的、継続的な実施を要望致します。

①防府市創業支援補助金制度の継続

②中心市街地での創業に対する創業補助金を 50 万円から 100 万円に拡充

③防府市振興資金における新規開業資金の融資限度額を 750 万から 1,250 万円に拡充

④創業後の 5 年間の法人税、社会保険料の減免措置

<要望先：防府市>

## 2) 女性起業家に対する創業補助金を100万円に拡充

創業意欲の低迷が課題とされる中、新たな起業の担い手として女性起業家の創出が期待を集めておりますが、女性起業家特有の細やかな視点から生まれた事業は、経済の成長だけでなく、住みやすい地域の形成など社会を変革する原動力になると期待されています。

本市において、女性が活躍する場を拡大していくことは、中心市街地活性化が目指している「住みたくなるまち」の実現に重要な役割を果たすことから、女性起業家に対する創業補助金の拡充を要望致します。

<要望先：防府市>

## 26. 事業承継の促進に向けた税制の見直し（新規）

欧米では事業承継税制が政策税制として強化され、アジアでも相続税自体が存在しない国が多くある中、我が国では事業承継に係わる税負担の問題が大きく、現経営者が廃業を検討せざるを得ない要因となっており、承継が進められたとしても会社からのキャッシュの流出、事業拡大の抑制や利益圧縮等の要因となっています。

グローバル競争に晒されている中小企業が、成長に必要な経営基盤を損なうことなく、円滑な事業承継の実現により技術継承や競争力確保、雇用の確保を図ることは重要と考えることから、下記の事業承継に係わる税制の見直しを要望致します。

- ①取引相場のない株式の評価方法を、事業継続を前提とした配当重視の評価方法への抜本的見直し
- ②同族株主判定の範囲の見直し

<要望先：防府市・国>

## 27. 円滑な事業承継を支援する体制の構築

経営者の高齢化が進み、後継者不在による事業承継問題は年々深刻化する中で、雇用の維持や中小企業の持つ高い技術力を受け継ぎ産業の活力減退を防ぐために、円滑な事業承継を支援していく必要があります。

当所では、市内600社に対して事業承継に対するアンケートを実施したところですが、この調査結果を受けて、域内の中小・小規模事業者の円滑な事業承継に繋げるための課題抽出や支援策を検討する「事業承継推進会議（仮称）」の開催と事業承継を推進する事業へのご支援を要望致します。

<要望先：防府市>

## 28. 中小企業・小規模事業者の資金調達の安定化に向けたセーフティネット保証の継続と責任共有制度の見直し（新規）

我が国は、緩やかな景気回復基調にあるものの、未だ中小企業・小規模事業者にとっては回復感に乏しく、円滑な資金調達により事業継続を支えていくことが必要であると考えます。

また、責任共有制度が導入されて以降、業績の悪化や信用力の薄い企業では、貸出審査

の厳格化や選別融資、貸し渋りなどが生じて事業継続が困難となることも見られます。

つきましては、セーフティネット保証の継続と責任共有制度の廃止を含めた上での見直しを行い、中小企業・小規模事業者の資金調達の安定化に向けた取り組みを要望致します。

(セーフティネット保証とは)

経営環境や金融環境の変化などにより、経営の安定に支障を生じている中小企業事業者の資金供給の資金繰り円滑化を図る制度。

(責任共有制度とは)

信用保証協会と金融機関が適切な責任共有を図ることにより、両者が連携して、中小企業・小規模事業者の事業意欲等を継続的に把握し、融資実行およびその後における経営支援や再生支援といった中小企業・小規模事業者に対する適切な支援を行うことを目的とする制度。

<要望先：国>

## 29. 経営革新計画承認企業に対する奨励補助金、並びに、成長段階や経営戦略に応じた総合支援補助金の創設（新規）

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、消費者ニーズの多様化、価格競争の激化、情報化、国際化の進展等大きく変化しており、消費者のニーズにあった新商品の開発または生産、新サービスの開発または提供等による経営革新が必要であります。

また、中小企業・小規模事業者が労働生産性の向上や、付加価値を高めるための各補助金申請においては、経営革新計画の承認を受けた企業は加点される制度となっております。

つきましては、活力ある中小企業・小規模事業者を創出するため、経営革新計画を承認された企業に対する奨励補助金並びに成長段階や経営戦略に応じた総合支援補助金の創設を要望致します。

<要望先：防府市>

## 30. 人手不足等に対応する、企業の効率化や省力化に向けた「ものづくり補助金、持続補助金」の継続的な実施（新規）

### 1) ものづくり補助金・持続化補助金の継続実施

日本の産業界では、人手不足が深刻化し始めており、中小企業の人手不足の度合いはバブル崩壊後で最も高いレベルに達しており、日本商工会議所調査でも、5割超の中小企業において人手不足が深刻化との調査結果が出ています。

現在、国内外のニーズに対応するサービスやものづくりの新事業を創出することを目的に設備投資を支援する「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」、そして、経営計画に基づき販路拡大に取り組むことを支援する「小規模事業者持続化補助金」が実施されていますが、これらの支援策は、産業経済の発展だけでなく、多くの事業者が抱える人手不足に対応するための「効率化・省力化」の取り組みも後押しする施策であります。

つきましては、労働生産性を向上させ、付加価値を高めるための取り組みを支援する

各補助金制度の継続的な実施を要望致します。

<要望先：国>

## 2) 防府市版ものづくり補助金の創設について

防府市内には高い技術を誇る中小企業・小規模事業者が多く存在しており、これらの事業者の「新商品・サービスの開発」や「販路開拓」「集客」等の新たな取り組みを支援することは、持続的な経営者の育成だけでなく、安定した雇用創出に繋がり、地域経済の活性化が図れると考えます。

また、こうした事業者の支援は、高い技術を保有する中小・小規模事業者の集積が図られ、本市が優位性を持って企業誘致を進めことができると期待されることから、「防府市版ものづくり補助金」制度の創設を要望致します。

<提出先：市>

## 31. 経済の好循環を生む企業の積極投資を促す税制措置（新規）

人口減少や高齢化が加速する地方経済において、民需主導による経済の好循環を実現することが求められていますが、現在の内外需とも先行き不透明な状況において、中小企業・小規模事業者の事業革新や新陳代謝に必要な設備投資が積極的に進んでいくとは想定できません。

そのため、下記の企業の積極投資を後押しするインセンティブな税制措置、並びに、地域の雇用を維持するための社会保険対象者・企業の負担割合の見直しを要望致します。

- ①平成 29 年 3 月 31 日までの期限付き制度とされている中小企業投資促進税制の延長
- ②少額減価償却資産の特例の拡充
- ③年々増大する社会保険料の引き下げ

<要望先：国>

## 32. 公共工事の品質確保と、担い手の中長期的確保に繋げるための地元企業への優先発注と専門性の高い分野における分離発注の推進

道路・公共施設の行政インフラが更新時期を迎え、建替えや長寿命化への改修が進められる中で、企業内での高い技術力の育成と次世代への技術承継を促すため、公共工事の地元企業への優先発注と、専門性の高い分野における分離発注が必要であると考えます。

また、公共工事の地元企業への優先発注は、市民の安心・安全、そして豊かな生活を支え、災害時には避難所や復興を進める拠点としての機能を担う道路・公共施設の確かな品質を確保することにも繋がると考えます。

つきましては、地元企業への優先発注と専門性の高い分野における分離発注の推進を要望致します。

<要望先：防府市>

### 33. 商工会議所が実施する地域経済を支える小規模事業者の経営力向上支援に繋げる「経営発達支援計画」に基づく事業への支援（新規）

防府商工会議所では、創業包括支援相互協定に基づく創業・第二創業の支援、企業の地域ブランド「幸せます」を使った販売戦略、その他、地域経済活性化に資する各事業を柱とする、地域経済を支える小規模事業者の経営力向上支援に繋げる「経営発達支援計画」を策定し、経済産業省から認定を受けております。

今後この計画に基づき諸事業を展開するにあたり、関係各機関との連携を図ることで、実効性とより高い効果を達成していきたいと考えておりますので、本計画に基づく各事業へのご支援を要望致します。

<要望先：防府市>

### 34. 平成 29 年度市助成金の交付申請（1,100 万円）

景気は、雇用環境や企業収益の改善による内需を中心に緩やかに回復をしているものの、金融市場の動揺や新興国経済の減速に伴い輸出が伸び悩んだことによる国内生産活動の低迷、併せて、原材料価格の高止まりや人手不足の影響が拍車をかけ、足下では停滞感が広がり、中小企業を取り巻く経営環境は未だ楽観視できない状況にあります。

こうした状況の中、地域唯一の総合経済団体である商工会議所の役割と重要性は一段と増してきており、中小企業や地域が抱える様々な課題に対して、行政、関係団体と一層連携を密にしながら各事業を積極的に展開しております。

中小企業・小規模事業者の経営ニーズは一層高度化・多様化することが考えられ、その経営ニーズに対応するため、経済産業省の認定を受け、小規模事業者の経営力向上支援に繋げる「経営発達支援計画」事業の実施、これからの人口減少時代の本格到来の中で、幸せますなまちの実現を目指す中心市街地活性化協議会の設置、「天神鱧」、「幸せます」ブランドを活用した販促支援、四季を通して開催する「幸せますフェスタ」の開催による中心市街地への賑わい創出、地域資源を活用した新たな観光ルート構築事業など、様々な角度からの地域活性化に取り組んでおります。

また、創業支援では、市創業支援センターと連携を図ることで県内でも高い創業者数を達成しておりますが、高齢・後継者不足による廃業者を上回るには至っておらず、会員数の減少による厳しい財政状況は打開できずにあります。

市当局におかれましても、厳しい財政状況にあることは十分承知しておりますが、中小企業・小規模事業者の活性化、及び、地域経済振興の観点から次年度の市助成金について、下記の申請額通りの助成を要望致します。

<要望先：防府市>